



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 東洋紡株式会社

コード番号 3101 URL <https://www.toyobo.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 郁夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 石丸 園子 TEL 06-6348-3044

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	314,229	2.2	10,175	103.8	5,534	131.0	721	△54.2
2024年3月期第3四半期	307,323	2.9	4,992	△47.8	2,395	△65.5	1,573	△83.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 5,652百万円 (72.8%) 2024年3月期第3四半期 3,271百万円 (△67.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	8.18	-
2024年3月期第3四半期	17.85	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	614,061	232,490	31.8	2,217.67
2024年3月期	606,990	230,087	32.5	2,236.50

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 195,539百万円 2024年3月期 197,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	40.00	40.00
2025年3月期	-	0.00	-		
2025年3月期（予想）				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	435,000	5.0	17,000	89.0	11,500	65.2	2,600	5.9	29.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー 社（社名）、除外 ー 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	89,048,792株	2024年3月期	89,048,792株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	875,768株	2024年3月期	949,992株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	88,142,736株	2024年3月期3Q	88,095,837株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米国では、物価上昇が鈍化し政策金利が引き下げられる中、底堅い個人消費に支えられ、経済活動は堅調に推移しました。中国では、輸出は大幅に拡大しましたが、不動産不況の長期化や消費の低迷など内需の不振により、景気は足踏み状態が続いています。国内においては、所得環境の改善により個人消費が持ち直したことに加え、インバウンド需要の増加や設備投資の拡大により、景気は緩やかに回復しました。今後、米国の政策転換が世界経済に影響を及ぼし、当社事業環境も影響を受けることが予想されます。

こうした事業環境のもと、液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”、中東向け特化生地は堅調に推移しました。加えて、衣料繊維事業、エアバッグ用基布事業、医薬品製造受託事業などの要改善事業において、製品価格の改定や生産体制の見直しなどの対策が進捗し、収益性が改善しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比69億円（2.2%）増の3,142億円となり、営業利益は同52億円（103.8%）増の102億円、経常利益は同31億円（131.0%）増の55億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同9億円（54.2%）減の7億円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

（フィルム）

包装用フィルム事業では、新製品の開発費用などコスト上昇の影響を受けましたが、荷動きは緩やかに回復したことに加え、原燃料価格や物流費などに対する製品価格の改定が進捗したことで、収益性は回復基調にあります。

工業用フィルム事業では、セラミックコンデンサ用離型フィルムは、本格的な需要拡大に至らなかったことに加え、新機台の立上げ費用が増加しました。液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”は堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比75億円（6.4%）増の1,249億円、営業利益は同23億円（155.9%）増の38億円となりました。

（ライフサイエンス）

バイオ事業では、診断薬用原料酵素は国内外ともに需要は堅調で販売が増加しましたが、生産能力増強に伴う費用が増加しました。

メディカル事業では、人工腎臓用中空糸膜の需要は堅調に推移しましたが、新工場の立上げ費用やインフラ関連費用が増加しました。

医薬品製造受託事業では、FDAからのWarning Letterが解除されたことに加え、製品価格の改定が進み、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比5億円（1.9%）増の257億円となり、営業利益は同20億円（57.3%）減の15億円となりました。

（環境・機能材）

樹脂・ケミカル事業では、エンジニアリングプラスチックは、北中米向け自動車用途の販売が拡大しました。水現像型感光性印刷版用途の光機能材料は、中国や東南アジアを中心に販売が増加しました。

環境・ファイバー事業では、環境ソリューションは、リチウムを濃縮回収するためのBC（Brine Concentration）膜装置の販売が寄与しましたが、EV市場減速の影響により、リチウムイオン電池セパレータ製造工程で使用されるVOC回収装置の出荷が減少しました。高機能ファイバーは、海外需要を着実に取り込み、堅調に推移しました。不織布マテリアルは、国内生産体制の見直しが進み、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比26億円（3.1%）減の835億円、営業利益は同26億円（87.1%）増の56億円となりました。

（機能繊維・商事）

衣料繊維事業では、中東向け特化生地は、強い需要に牽引され販売が増加したことに加え、為替影響により輸出採算が好転しました。さらに、国内生産拠点集約などの構造改革により、収益性が改善しました。

エアバッグ用基布事業では、製品価格の改定が進み、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比24億円（3.5%）増の713億円、営業利益は1億円となりました（前年同期は営業損失15億円）。

（不動産、その他）

当セグメントでは、不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等のインフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比8億円（8.3%）減の88億円、営業利益は同3億円（16.2%）減の18億円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前年度末比71億円（1.2%）増の6,141億円となりました。これは主として現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少した一方で、設備投資により有形固定資産が増加したことによります。

負債は、前年度末比47億円（1.2%）増の3,816億円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が減少した一方で、借入金が増加したことによります。

純資産は、配当金の支払などにより利益剰余金が減少した一方で、非支配株主持分が増加したことから、前年度末比24億円（1.0%）増の2,325億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、概ね予想どおりに推移しており、2025年3月期通期の連結業績予想については、2024年5月13日に発表しました予想から変更は行っていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,796	30,694
受取手形及び売掛金	87,743	82,245
契約資産	140	25
電子記録債権	14,921	14,801
商品及び製品	69,996	66,817
仕掛品	20,566	23,122
原材料及び貯蔵品	31,421	33,047
その他	15,488	12,930
貸倒引当金	△337	△339
流動資産合計	273,733	263,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	64,575	73,514
機械装置及び運搬具（純額）	59,855	66,030
土地	91,049	90,443
建設仮勘定	53,025	52,834
その他（純額）	12,972	13,137
有形固定資産合計	281,475	295,959
無形固定資産	4,670	4,967
投資その他の資産		
その他	48,380	49,862
貸倒引当金	△1,268	△69
投資その他の資産合計	47,112	49,793
固定資産合計	333,257	350,719
資産合計	606,990	614,061

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,782	43,823
電子記録債務	4,229	3,909
短期借入金	68,385	53,503
1年内償還予定の社債	15,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	13,069	12,746
引当金	5,308	2,980
その他	28,375	31,792
流動負債合計	184,148	158,752
固定負債		
社債	60,000	67,000
長期借入金	85,637	110,632
再評価に係る繰延税金負債	18,762	18,754
役員退職慰労引当金	274	195
環境対策引当金	11	11
退職給付に係る負債	15,901	15,311
その他	12,171	10,916
固定負債合計	192,755	222,818
負債合計	376,903	381,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,730	51,730
資本剰余金	33,187	32,647
利益剰余金	70,315	67,560
自己株式	△1,006	△925
株主資本合計	154,227	151,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,801	2,148
繰延ヘッジ損益	△1	57
土地再評価差額金	40,603	40,590
為替換算調整勘定	△548	594
退職給付に係る調整累計額	951	1,138
その他の包括利益累計額合計	42,806	44,527
非支配株主持分	33,054	36,951
純資産合計	230,087	232,490
負債純資産合計	606,990	614,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	307,323	314,229
売上原価	242,546	243,158
売上総利益	64,777	71,072
販売費及び一般管理費	59,786	60,897
営業利益	4,992	10,175
営業外収益		
為替差益	783	151
受取補償金	—	518
その他	1,269	1,497
営業外収益合計	2,052	2,166
営業外費用		
支払利息	989	1,531
その他	3,659	5,276
営業外費用合計	4,648	6,807
経常利益	2,395	5,534
特別利益		
関係会社株式売却益	—	1,489
投資有価証券売却益	3,049	79
特別利益合計	3,049	1,568
特別損失		
減損損失	—	950
固定資産処分損	1,605	1,823
固定資産売却損	—	126
持分変動損失	212	—
特別損失合計	1,816	2,899
税金等調整前四半期純利益	3,628	4,203
法人税等	1,936	738
四半期純利益	1,692	3,465
非支配株主に帰属する四半期純利益	119	2,744
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,573	721

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,692	3,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,885	346
繰延ヘッジ損益	△73	15
為替換算調整勘定	2,568	1,497
退職給付に係る調整額	402	187
持分法適用会社に対する持分相当額	568	142
その他の包括利益合計	1,579	2,187
四半期包括利益	3,271	5,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,885	2,501
非支配株主に係る四半期包括利益	386	3,152

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	117,393	25,262	86,166	68,888	3,073	300,782	6,542	307,323	—	307,323
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,674	79	6,688	848	870	10,158	12,571	22,729	△22,729	—
計	119,066	25,340	92,854	69,736	3,943	310,939	19,113	330,052	△22,729	307,323
セグメント利益 又は損失(△)	1,499	3,485	3,003	△1,546	1,559	8,000	571	8,571	△3,579	4,992

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,579百万円には、セグメント間取引消去△407百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,172百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	124,881	25,740	83,524	71,272	3,141	308,558	5,672	314,229	—	314,229
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,634	83	6,137	929	859	9,642	9,912	19,554	△19,554	—
計	126,516	25,822	89,660	72,201	4,001	318,200	15,584	333,783	△19,554	314,229
セグメント利益	3,836	1,489	5,618	61	1,369	12,374	417	12,791	△2,617	10,175

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△2,617百万円には、セグメント間取引消去190百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,806百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	14,462百万円	16,965百万円